

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34101	図書館概論 Introduction to Library	江良 友子	専門	2	選択	1・2年 前期
科目の概要						
図書館概論は、図書館について学ぶための基礎となる科目である。生涯学習社会、高度情報化社会における図書館サービスはどうあるべきかを念頭に置きながら、その理念と歴史、理論と実際、現状と当面する課題などについて学ぶ。						
学修内容			到達目標			
① 図書館の定義と意義について学ぶ ② 現代社会における図書館の役割と重要性について学ぶ ③ 図書館の理念について学ぶ ④ 図書館関係法規と行政、施策について学ぶ ⑤ 図書館の制度と機能について学ぶ			① 図書館の定義と意義を知り、理解することができる ② 図書館の役割を知り、その重要性を理解することができる ③ 図書館の自由に関する宣言と図書館員の倫理綱領を読み、知ることができる ④ 図書館法とその関連法を読み、知ることができる ⑤ 各種図書館に関する法律を知り、各種図書館機能を理解することができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	自主的に図書館へ行き、各種サービスを積極的に利用する。				
	働きかけ力					
	実行力	図書館を利用して、宿題など疑問に感じたことを課題解決している。				
考え抜く力	課題発見力	毎日、新聞を読み、社会の流れを把握できている。				
	計画力					
	創造力	学んだことを活かして、図書館の利用しやすさについて考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループ発表のリーダーシップをとることができる。				
	傾聴力	人の意見を参考にして、自分の意見をまとめることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	学生としてではなく、社会人として通用する言葉遣いと行動(授業中におしゃべりしない、遅刻しない、忘れ物をしない、提出物を期限内に提出する、授業中に携帯を触らない等)ができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:「図書館情報学基礎資料」2016年 今まど子・小山憲司 編著、樹村房 1,080円 講義用レジュメおよび追加資料を配付する。必要に応じて教材として視聴覚資料を使用する。 参考文献:授業の中で紹介する。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:図書館に関する科目全て 資格との関連:図書館司書						
学修上の助言			受講生とのルール			
図書館に対する興味・関心を広げると授業が興味深くなる。 図書館関連の各種報道に注意するとともに、図書館に関する様々な本や雑誌を読むこと。 実際に図書館をよく利用すること。			遅刻・欠席は、3回で1回の欠席となる。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに、欠席分の配布資料を取りに来ること。 欠席した場合でも課題提出は必須です。必ず指定された期限までに提出すること。 授業で行く図書館見学に要する交通費は自己負担とする。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	50	①	✓	筆記試験では、専門用語の理解と授業で学んだ内容についての理解度を問う論述問題を出題する。(50点) 評価ポイント ・図書館専門用語の理解 ・図書館法、その他関係法規の理解 ・図書館の種類と役割の理解 ・各種図書館の機能についての理解 ・図書館の歴史理解 ・現在の図書館が直面している課題理解
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
小テスト				
レポート	40	①	✓	見学した図書館について(20点×2) ①市立図書館を見学して(1500字以上) 市立図書館の役割を考え、「工夫されている」と感じた点について書きなさい ②学校図書館を見学して(1500字以上) 自分がこれまで利用してきた学校図書館と比較して、異なる点や初めて知ったことについて書きなさい 評価のポイント (表記・表現等) ・字数制限が正しく守られている。 ・口語やくだけた表現を使用せず、正しい文章表現と漢字を用いている。 ・「です・ます調」ではなく、「だ・である調」を用いている。 ・段落ははじめの1字下げなど、基本的なルールを守っている。 ・情報源は、信頼のおける適切なものを使用している(引用・参考文献)を記載できている。 (内容) ・テーマに合致した内容となっている。 ・根拠をもとに、自分の考えを明確に述べている。 ・自分の述べたいことを、筋道立てて論理的に述べている。 ・意味の通らない文章がなく、論旨が明快である。 ・内容に説得力があり、読み手を納得させられる内容である。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		(主体性)自主的に本を読むことができる。 (実行力)授業外に図書館を利用できている。 (課題発見力)毎日、新聞を読み、社会で起きていることがわかる。 (創造力)自分が理想だと感じる図書館サービスをイメージすることができる。 (発信力)グループ内で意見をまとめて、聞き手にわかりやすい発表をすることができる。 (傾聴力)人の話に耳を傾け、全ての意見をとりまとめることができる。 (規律性)期限までに提出物を遅れずに出すことができる。 ※上記の7項目は、課題発見力を特に重視し、全体を通して総合的に評価する・・・10点
		②		
		③		
		④		
		⑤		
その他				
総合評価割合	100			筆記試験、レポート、学修態度の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
<p>S(秀)評価 筆記試験の評価ポイントに記載している事項について9割以上回答できている。 レポート課題2回分の評価の総計が 36 点以上獲得できている 学修態度にある7項目が達成できている。</p> <p>A(評価) 筆記試験の評価ポイントに記載している事項について 8 割以上回答できている。 レポート課題2回分の評価の総計が 32 点以上獲得できている 学修態度にある7項目のうち 6 項目以上が達成できている。</p>	<p>B(良)評価 筆記試験の評価ポイントに記載している事項について 7 割以上回答できている。 レポート課題2回分の評価の総計が 28 点以上獲得できている 学修態度にある7項目のうち 5 項目以上が達成できている</p> <p>C(可)評価 筆記試験の評価ポイントに記載している事項について 6 割以上回答できている。 レポート課題2回分の評価の総計が 24 点以上獲得できている 学修態度にある7項目のうち 4 項目以上が達成できている或は、達成までには至らないがよく努力している</p>

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 / 1週	オリエンテーション 図書館の現状と動向について ビデオ「行ってみよう知の宝庫 名古屋市図書館紹介」	発表 講義 ビデオ視聴 質疑応答	公共図書館、大学図書館、 学校図書館、専門図書館の それぞれの役割を理解する。 図書館で働く職員の雇用 形態を知る	(予習) 自分がこれまで利用 してきた図書館につ いて2～3分程度で話 せるようにまとめてお く	60	主体性 傾聴力 規律性
2週 / 2週	図書館とは何か 図書館の役割について学ぶ	講義	公立図書館はなぜ必要な のか、社会でどのような役 割を果たしているかを理解 する	(復習) 配布した資料を読み 返す	180	課題発 見力 実行力 傾聴力
3週 / 3週	生涯学習と図書館 生涯学習社会の中での図書館 の役割について学ぶ	講義	生涯学習社会における図 書館の意味を理解する	(復習) 配布した資料を読み 返す	180	課題発 見力 実行力 傾聴力
4週 / 4週	出版と図書館、著作権 出版流通と著作権について学ぶ	講義	出版流通の過程と著作権 法について知る	(予習) 教科書の著作権法に 目を通す	180	課題発 見力 実行力 傾聴力
5週 / 5週	図書館の理念 図書館の自由を読み、意味を学 ぶ	講義	図書館の自由についての 事例を理解する	(予習) 教科書の図書館の自 由に関する宣言及び 図書館員の倫理綱領 に目を通す	180	課題発 見力 実行力 傾聴力
6週 / 6週	図書館の法的基盤 図書館に関する法律を学ぶ	講義	憲法、教育基本法、社会 教育法、地方自治法のうち 図書館関係部分を知る	(予習) 教科書の憲法、教育 基本法、社会教育 法、地方自治法のうち 図書館関係部分に目 を通す	180	課題発 見力 実行力 傾聴力
7週 / 7週	図書館行政・施策 図書館関係法規について学ぶ	講義	図書館整備・振興のため の根拠となる法規を知る	(予習) 教科書の図書館整 備・振興のための根 拠となる法規に目 を通す	180	課題発 見力 実行力 傾聴力
8週 / 8週	地域社会と図書館 地域の中での図書館の役割に ついて学ぶ	講義	地域の情報拠点としての 図書館の役割を理解する	(復習) 配布した資料を読み 返す	180	課題発 見力 実行力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	公共図書館の制度と機能 図書館機能について学ぶ ビデオ「図書館の機能」	講義 ビデオ視聴	図書館の機能を理解する	(予習) 教科書の図書館法を 読む	180	課題発 見力 実行力 傾聴力
10週 /	図書館見学 岡崎市立図書館見学(予定)	見学	公立図書館を見学し、その 仕組みと実際を理解する	(予習) 岡崎市立中央図書館 のHPで、どのようなサ ービスが行われている か、どのような施設 であるか、事前学習を しておくこと (課題) 図書館見学レポート 作成	180	実行力 創造力 規律性
11週 /	大学図書館の制度と機能 大学図書館の役割について学 ぶ	第1回図書館見学レ ポート提出 講義	大学図書館の機能を理解 する	(復習) 配布した資料を読み 返す	180	実行力 創造力 規律性
12週 /	専門図書館の役割 代表的な専門図書館	第1回図書館見学レ ポートについてフィ ードバック 講義	代表的な専門図書館を知 り、その役割を理解する	(復習) 配布した資料を読み 返す	180	実行力 創造力 規律性
13週 /	学校図書館の制度と機能 城西高校学校図書館見学(予 定)	見学	学校図書館の機能を理解 する	(予習) 教科書の学校図書館 法に目を通す (課題) 図書館見学レポート 作成	180	実行力 創造力 規律性
14週 /	国立国会図書館の制度と機能 国立国会図書館の役割につ いて学ぶ	第2回図書館見学レ ポート提出 講義	国立国会図書館の機能を 理解する	(復習) 配布した資料を読み 返す	180	課題発 見力 実行力 傾聴力
15週 /	図書館の歴史 日本と外国の図書館の歴史に ついて学ぶ グループに分かれて日本・外国 の図書館の歴史について調べ たことを発表する	第2回図書館見学レ ポートについてフィ ードバック 講義 グループワーク	日本と外国の図書館の歴 史を理解する	(予習) 図書館の歴史につ いて調べる(日本か外国 かいずれかを割り当 てる)	300	発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力